

問 生物多様性の 保全や再生は

答 自然の恵みが持続する社会を



公明党
植木 伸寿 議員

問 環境に優しいまちの構築と、将来にわたる自然環境の保全への取り組みを伺う。

答 村では、平成24年に村民と事業者で組織する「とうかい環境村民会議」を創設。具体的取り組みとして「環境フェスタ with キャンドルナイト」、「外来生物除去作戦」、「小学校環境学習発表会」など、これらの環境活動を進めることで村民・事業者・行政が一体となった協働連携を推進している。

また、生物多様性をもたらす自然の恵みを

持続的に利用できるところが、社会経済にも利点をもたらすとの考えに基づき、これまでの取り組みとして、本村の特色や豊かな自然を生かした村独自の「環境学習プログラム」の実践、ビオトープ・ネットワーク拠点として位置づけられている緑地の希少種調査、野生生物の生息・生育地点情報のデータベース化、

自然の量や質が一定に保たれるための自然環境のノー・ネット・ロスの仕組みづくりの検討等を実施している。



外来生物除去作戦
村民・事業者・行政が連携した環境活動の取り組み

問 行政品質向上活動に 取り組むべき

答 プログラム確立目指していきたい



新政とうかい
新垣 麻依子 議員

問 限られた財源・資源の中で有効な政策を実現するためには効果的かつ効果的に人材を育成して活用を行うことが重要であると考えます。職員の人材育成の考え方は。

答 平成29年度に「東海村人材育成・活用ビジョン」を策定し、職員を「人材」として育成・活用していくための方向性を定めています。これに基づき、3年間の中期研修計画や人事制度・職場環境の整備、人事評価制度の充実を図り、主事級から部長級まで必要な能力を明らかにした上で計画的な研修を組み立

ています。

問 職員能力向上を効果的に進めるためにも「東海村行政品質向上活動」に取り組むべきであると考えます。

答 行政経営の品質向上の取り組みについては「持続可能なまちづくり」を推進していくために重要であり、本村に合った行政経営品質向上プログラムの確立を目指していきたい。今年度は行政品質向上対策の一環として、部課長を対象としたセミナーを実施したいと考えている。



東海村に合った人材育成が必要